

別紙 4 端末要件

1 概要

1.1 目的

本要件は、消防指令・情報システムで利用される各種端末を、適切な管理の下で安定稼働させることを目的に定める。

1.2 端末種別の定義

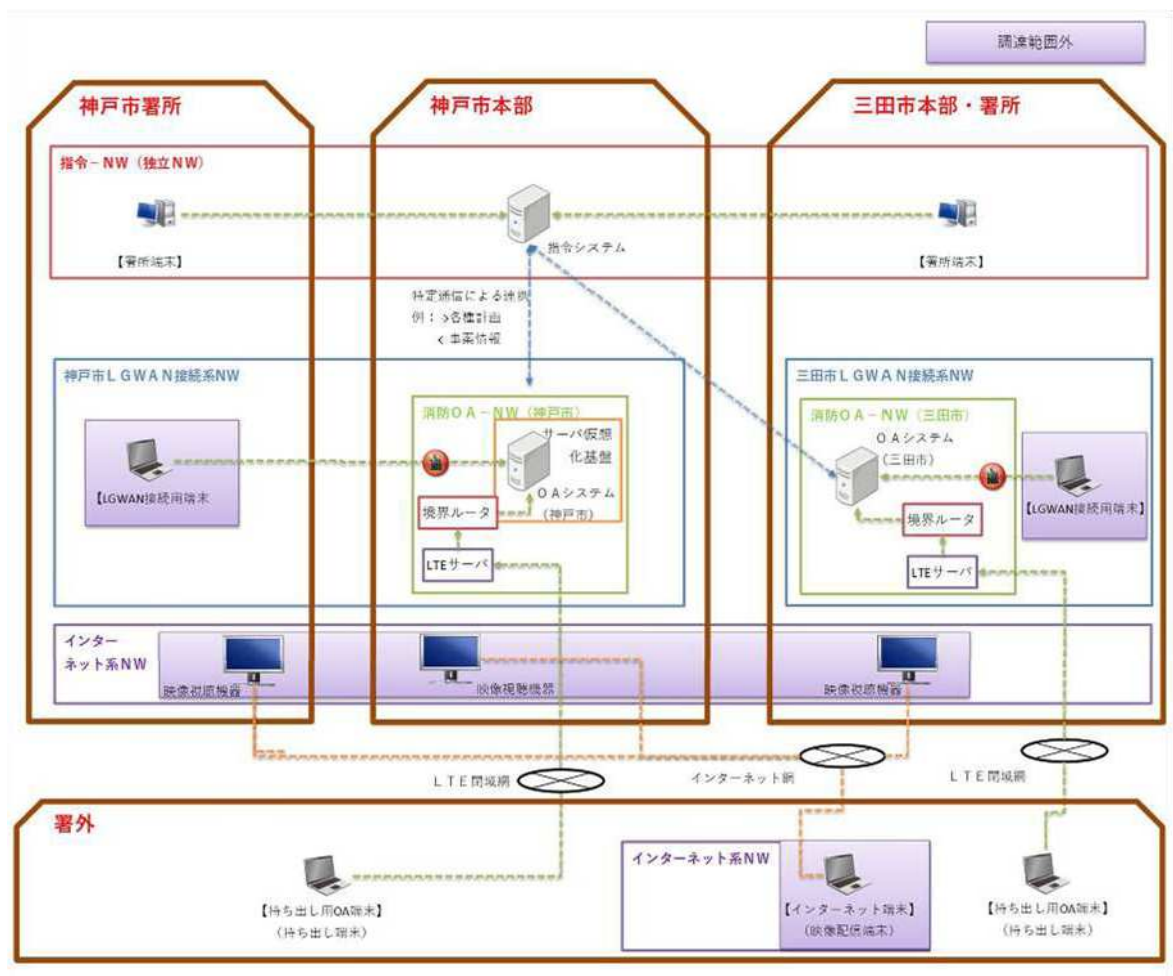
消防指令・情報システムで利用される端末の種別は、下記のとおりとする。

図表 1 端末種別

端末名	調達種別	属する NW	備考
署所端末	調達範囲	独自 NW	
AVM	調達範囲	独自 NW	閉域網 VPN での接続を想定
持ち出し用OA端末	調達範囲	LGWAN 接続系 NW	庁外でOAシステムを利用するための端末
LGWAN接続用端末	調達範囲外	LGWAN 接続系 NW	神戸市・三田市職員用端末
インターネット端末	調達範囲外	インターネット系 NW	映像配信端末

1.3 各端末の NW 概要

図表 2 NW概要



1.4 留意事項

- ✓ 指令NWは独立したNWとして、本部－署所間（三田市含む）を独立WAN回線で

-
- 接続すること。
- ✓ O Aシステムサーバは、両市の L G W A N 接続系 N W 配下に独立したセグメント（図表 2 中の消防 O A－N W の部分）を構築した中に、配置すること。
 - ✓ O Aシステムは、L G W A N 接続用端末（神戸市・三田市の職員用端末。神戸市では事務処理用端末と称する。）を使用して利用することを原則とする。
 - ✓ 本部外及び署所外で O Aシステムを利用するために、持ち出し用 O A 端末を導入すること。持ち出し用 O A 端末が O Aシステムに接続する場合、神戸市、三田市共に、L T E 閉域網の回線により接続させること。
 - ✓ インターネット端末は、署外からの映像受配信に用いる予定であり、調達範囲外とする。
 - ✓ 持ち出し用 O A 端末が接続する携帯ネットワーク回線および S I M、拠点間の W A N 回線は調達範囲外とする。

2 端末に求められる要件

2.1 端末管理要件

2.1.1 機能要件

- ✓ AcitveDirectory 等により統合的に管理すること。AcitveDirectory の構築は本調達範囲とし、構成がよりよい形となるように提案すること。
- ✓ SKYSEA の管理機能を構築し、端末制御を実施すること。SKYSEA のライセンスも本調達範囲とすること。

2.1.2 対象端末

調達範囲の端末すべて

ただし、本要件の対象外の端末がある場合には、本市に申し出て、内容を説明すること。また、必要に応じて、本市デジタル戦略部との協議に応じること。

2.2 OS 要件

端末の OS は導入時点で最新の OS とすること。また、契約期間内にサポート期限を迎える OS を利用する場合、最新 OS のライセンス取得及び移行作業についても、本調達の範囲に含めること。

2.3 セキュリティ要件

2.3.1 機能要件

- ✓ エンドポイントセキュリティソフトウェアを導入し、セキュリティ対策を実施すること。
- ✓ 神戸市側で利用する端末は、エンドポイントセキュリティソフトウェアとして、WindowsDiffender を使用すること。

-
- ✓ 三田市側で利用する端末のエンドポイントセキュリティソフトウェアについては、下記のとおりとすること。
 - (1) 持ち出し用OA端末及びOAシステムサーバは、ApexOne を使用すること。なお、独立した環境であることを踏まえ、適切なパターンファイルが提供される環境を構築すること。
 - (2) LGWAN 接続端末は、LGWAN 接続系 NW 内に存在する配信サーバと連携し、パターンファイルの提供を受けることを前提とすること。
 - ✓ WSUS 等により、適切なOS パッチ、セキュリティパッチを適用すること。
 - ✓ 持ち出し用OA端末については、LGWAN 接続系 NW 内に存在する WSUS と連携し、パッチの提供を受けることが可能であるため、適用できるように構築すること。
 - ✓ 指令NW配下にある署所端末・AVM等については、独立した閉域環境であることを踏まえ、適切なパッチ提供環境を構築すること。ただし、パッチ提供がシステム全体の安定稼働に影響する等、課題がある場合には、本市に申し出て、内容を説明すること。

2.3.2 対象端末

調達範囲の端末すべて

ただし、本要件の対象外の端末がある場合には、本市に申し出て、内容を説明すること。
また、必要に応じて、本市デジタル戦略部との協議に応じること。

2.4 持ち出し環境要件

2.4.1 機能要件

- ✓ MDM によりリモートワイプ等のリモート制御ができること。

2.4.2 対象端末

持ち出し用OA端末

2.5 端末インストールソフト要件

2.5.1 機能要件

- ✓ 端末に稼働時点で最新の MS-Office を導入すること。
なお、「3.1 ライセンス等に関する留意事項」を参照して対応すること。

2.5.2 対象端末

AVMを除く調達範囲の端末すべて

ただし、本要件の対象外の端末がある場合には、本市に申し出て、内容を説明すること。
また、必要に応じて、本市デジタル戦略部との協議に応じること。

3 その他

3.1 ライセンス等に関する留意事項

3.1.1 神戸市側について

(1) Microsoft 社ライセンス

神戸市は、マイクロソフト社と「Microsoft 365 E3」製品について契約し、本市職員をユーザーとして設定したユーザーライセンスを保有している。当該ライセンスは、すべてソフトウェア・アシュアランス付きのライセンスであるため、本市と協議の上、活用を前提とすること。

なお、新たに必要となるライセンスについては、本市の承諾を得て、適切なライセンス数・価格により調達すること。

※受託者が運用保守拠点において使用する必要ライセンスは含まれないので別途調達すること。

※アップグレード権及びダウングレード権を有しているため、全バージョンで使用可能であることに留意すること。

3.1.2 三田市側について

三田市については、業務システム別にライセンスを取得する方針であるため、必要となる下記ソフトウェアは、すべて調達範囲として取り扱うこと。

○Microsoft 社ライセンス

Microsoft Office Standard 最新版 MPSA ライセンス

※MPSA 版ライセンスを取扱いできない場合は、software in CSP でも差し支えない。

以上